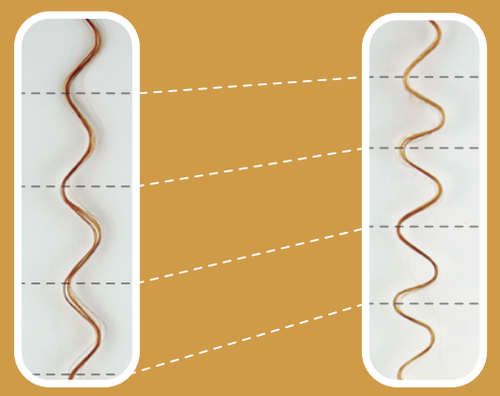
ソニルシリーズ

新型ソニルクリープＳ・Ｈが魅せる！
次世代“ダメージ補修カール”



毛束を用い、ソニルクリープＳ・Ｈ／ＢⅡローションにてカールテストした。左が従来品、右が今回の新型ソニルクリープ。
見ての通り新型の方がカールのかかりがとても良いことが分かる。

従来品よりさらに持続力向上を実現！
補修も同時に行うからこそできるリトルならではの技！

新型ソニルクリープ

補修 × 持続力

ダメージ補修カールが当たり前の時代に！

新型ソニルクリープＳ・Ｈでは、
“ダメージ軽減”ではなく“ダメージ補修しながら”
狙ったカールがぷるんとつくれ、持ちも向上します！

Ｓ・Ｈ

ダメージを補修しながら、アミジノシステイニルφ型ケラチンが芯を作りカールの弾力を向上させます。また、ダメージした部分の髪の弾力が上がるので、狙った通りのカールがつくれてカラーとパーマのＷ施術でつくるオシャレが繰り返し楽しめます。

ソニルクリープＳ

［タイプ］	ソフトタイプ
［剤形］	ローション
［還元剤］	システアミン
［システアミン濃度］	2%（チオ換算）
［ｐＨ］	8.8
［アルカリ度］	2.1
［対象毛］	ミドル～ローダメージ
［容量］	400ｇ
［価格］	2,280 円（税込 2,508 円）

ソニルクリープＨ

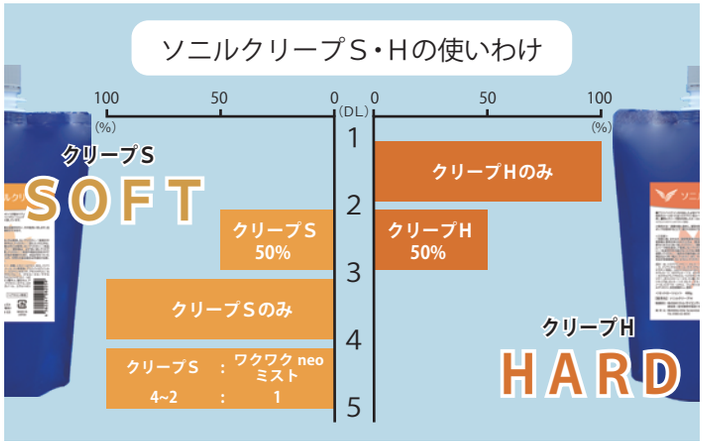
［タイプ］	ハードタイプ
［剤形］	ローション
［還元剤］	システアミン
［システアミン濃度］	4%（チオ換算）
［ｐＨ］	8.5
［アルカリ度］	3.0
［対象毛］	ローダメージ～健康毛
［容量］	400ｇ
［価格］	2,360 円（税込 2,596 円）

ＢⅡ

髪のデザインとやわらかい質感をキープしながら、膨らんだ髪をやさしく引き締めます。

ソニルＢⅡローション

［酸化剤］	ブロム酸
［ブロム酸濃度］	6%
［ｐＨ］	6.5
［容量］	1,000ｇ
［価格］	2,000 円（税込 2,200 円）



neo Ast Creep Process

ここではソニルクリープS・H／BⅡローションを用いた neo 収れんクリープのプロセスをご紹介します。

01 毛髪診断 シャンプー

02 前処理

03 ワインディング

04 1 液塗布・放置（放置時間：5〜15 分）

05 中間水洗

06 中間処理・還元剤封鎖

07 クリープ（熟成）（放置時間：7〜15 分）

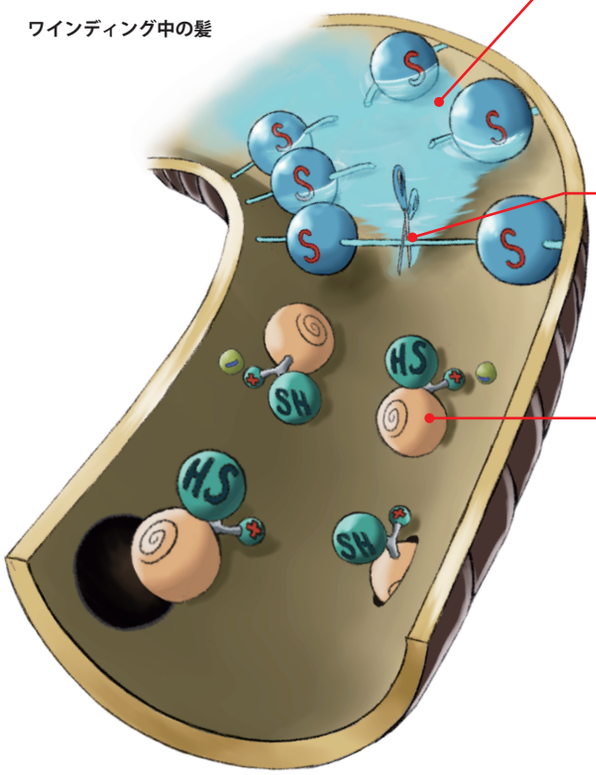
08 中間処理・pH 調整

09 2 液塗布・放置（放置時間：7 分×2）

10 ロッドアウト・後処理

11 トリートメント 仕上げ

ソニルクリープS・H の髪内部での働き



尿素

尿素が毛髪の水素結合を緩め、髪をやさしく膨らませることで、システアミンが素早く髪の内部まで浸透しやすい状態にします。

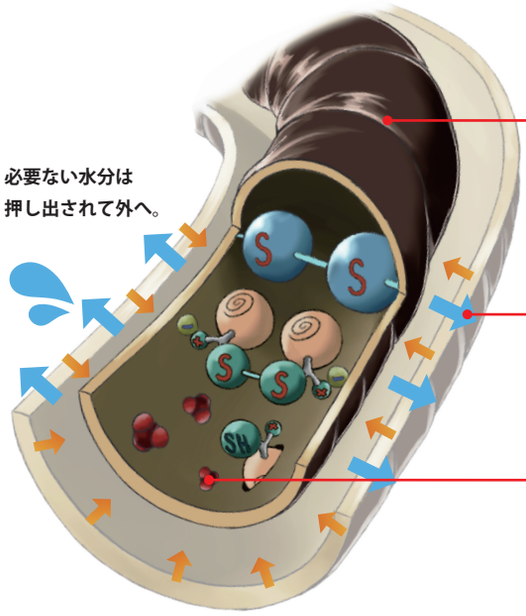
アルカリシステアミン※1

アルカリシステアミンが S-S 結合を切断していくことでまっすぐに戻ろうとする力を弱め、カールしやすい髪にしていきます。

アミジノシステイニルφ型ケラチン※2

アミジノシステイニルφ型ケラチンを導入すると、プラスの電荷をもっているためダメージ部のマイナスの電荷の部分にイオン結合します。
その後、BⅡローションで酸化することでグアニジル基同士が S-S 結合となるため、髪をしっかりとさせてくれます。
さらに、アミジノシステイニルφ型ケラチンはダメージホールを補修し、髪の強度を落とさず、逆にしっかりとさせながら、システアミンが内部を均等に軟化します。

ソニルBⅡローション の髪内部での働き



ホホバエマルジョン※3

ホホバエマルジョンがブロム酸の浸透を高め、髪を元の太さに戻し、柔らかい質感に仕上げます。

カシスポリフェノール※4

膨らんだ髪から水分を押し出して引き締めることでSHとSHを近づけます。

ブロム酸

ブロム酸が働くのは髪が酸性（pH4~5）のときです。中間処理で酸性にすると髪がほど良く締まり、S-S再結合します。

※1 システアミン HCl ※2 アミジノシステイニルケラチン（羽毛）※3 ホホバ種子油 ※4 クロフサスグリ果実エキス
※イラストはイメージです

■お問い合わせ　株式会社 Little Scientist GS　〒494-0001　愛知県一宮市開明字畑添17番地1　TEL 0586-62-8035

20210202-LS206